

完了報告書

日本財団 会長 笹川 陽平 殿

報告日付: 2024年5月17日

事業ID: 2023S02230

事業名: 神奈川県横浜市の「子ども第三の居場所」(A) コミュニティモデルにおける子どもへの体験機会の提供 (2023)

団体名: 特定非営利活動法人コドモノナリ

代表者名: 代表者 氏名片岡 恵美子

TEL: 045-507-4528

事業完了日: 2023年8月31日



■ 契約時

事業費総額	:	456,000 円
自己負担額	:	0 円
支援金額	:	456,000 円

箇所は(様式3)収支計算書より自動転記

■ 事業完了時

事業費総額	:	422,424 円	収支計算書の黄のセルの値
自己負担額	:	0 円	収支計算書の緑のセルの値
支援金額	:	422,424 円	収支計算書の赤のセルの値
支援金返還見込額	:	33,576 円	(収支計算書の青のセルの値)

1. 事業内容

支援契約書記載の事業内容(予定)と、事業完了時の事業内容(実績)を対照可能とするため、支援契約書と一緒に綴じている「事業計画」の事業内容欄を転記した上、体裁を変えずに結果を記入してください。なお、事業内容を複数設定している場合は、各事業内容ごとの完了時の実績を個別に記入してください。事業内容が4つ以上ある場合は、一つの事業内容ボックスに複数ご記載頂いて構いません。

■ 事業内容1

(1) 支援契約書記載の事業内容(予定)

1. 謎解き冒険ミステリーキャンプの実施
 (1) 時期: 2023年8月
 (2) 場所: 東京都あきる野市
 (3) 対象: 小中学生20名、大人5名
 (4) 内容: RPGゲームのようなストーリー仕立ての宿泊キャンプの実施
 初めての参加の子どもが仲良くなれるよう4つのグループ分けをし各グループのミッションも作る。参加者には事前に謎ブックを配布。
 (1日目) バスで移動。バスの中で今回の謎ストーリーを説明 洞窟探検、山散策をしながら謎解き、ミッションに挑戦。キャンプ地到着後は野外炊飯。
 (2日目) 朝ご飯とお弁当作り。川遊び。自分のお弁当を食べ帰宅。
 (翌週くらい) 第3の居場所「奏ロケット」に集まりスライドショーをみんなで観る。保護者も交えて報告会

(2) 事業完了時の事業内容(実績)

1. 謎解き冒険ミステリーキャンプの実施
 1) 実施日 2023/8/3~8/4
 2) 場所 東京都あきる野市 野良坊
 3) 対象 小学生20名 スタッフ5名 バス1台
 4) 内容 キャンプのしおりと一緒に各自にパズルピースを送り当日はピースの謎を解くところからスタート。
 2023/8/3(木)横浜市都筑区出発
 都立小峰公園(昼食・1回目の謎解き)
 大岳鍾乳洞探検(2回目の謎解き)
 クラインガルテン野良坊(施設探検・野外炊飯・最後の謎解きゲーム)
 2023/8/4(金)
 朝食作り、川遊び、BBQ
 2023/8/27(日)
 報告会会 交流会大人10名参加



(3) 成功したこととその要因

募集後すぐに満員になりました。奏ロケット利用者の他、SNSでの広告で初めての子どもたちも5名参加してくれました。支援金のおかげで価格を下げることができ、今まで参加できなかった子どもたちが来てくれました。川で泳ぐことや野外炊飯・BBQを始めてやる子どもも多く良い体験になったと思います。二日間とも怪我無く予定通りに実施もでき楽しく過ごせました。

(4) 失敗したこととその要因

BBQの際の段取りが悪く時間がかかってしまい、食材を余らせてしまいました。

(5)事業内容詳細

2023/8/3(木) 9:00集合 横浜市都筑区出発
11:30 都立小峰公園(昼食・1回目の謎解き)
13:30 大岳鍾乳洞探検(2回目の謎解き)
14:30 クラインガルテン野良坊(施設探検・野外炊飯・最後の謎解きゲーム)
2023/8/4(金)
7:00 朝食作り 部屋掃除
10:00 川遊び
11:40 BBQスタート 片付け
～14:30 川遊び
14:30 野良坊出発
16:30 都筑区着

2023/8/27(日)
報告会 交流会大人10名参加
当日の謎解きの内容紹介、スライドショーでの写真公開
参加家族の自己紹介、簡単な軽食と持ち寄りの軽食を食べながら交流



2.契約時事業目標の達成状況:

(1)支援契約書記載の目標

謎解き冒険ミステリーキャンプの実施

文字数チェック
することをご確認く

(2)目標の達成状況[700文字以内]

入力文字数	117	文字数チェック	OK
-------	-----	---------	----

予定通りキャン実施ができました。目標数の20名の参加者を集めることができ、今回は男性ボランティアの方をお願いしたので、子どもたちとダイナミックに遊んでいただけました。初めての参加の子たちものびのびと自分らしく楽しむことができました。

※700文字
文字数チェ
入力のセリ

3.事業実施によって得られた成果

・グループにわかれての謎解きは、問題にじっくり取り組む子、とにかくパッと行動に移す子、地図を読める子、記憶力がある子、体調悪い子に気付ける子、ひとりひとりが生き生きと自分の得意を發揮できるようスタッフがサポートの声掛けをしました。謎解き公判では、〇〇君この問題わかる？ 〇〇ちゃんさっきの何色だった？などお互いに力をあわせて行動するチームになりました。

・夕飯のカレーづくりでは野菜を切ったりいためたり、普段やったことのない事にも挑戦できました。

・夜不安になって眠れない低学年の子にはスタッフだけではなく高学年の子がついてあげたり、眠れない子たちを別の部屋に集めておしゃべりしたりしてくれたり異年齢の交流がうまくできました。

・帰りのバスで嘔吐してしまった子がおりましたが、近くにいた子たちがみんなで自分のティッシュを出してくれたり、ビニール袋を出してくれたり、タオルを準備してくれたり自分たちの服が汚れても気にせず介助してくれました。

・川遊びでは、深いところは流れが速くて危険なことや水辺の生き物は持ち帰ってはいけないことなども話し合うことができました。

・BBQの後、大人が片付けている間に高学年がリーダーとなってログハウス内で遊びを考えて全員をまとめてくれました。

4.活動を通じて明らかになった新たな課題と対応案

・BBQなど、準備や片付けに時間のかかるものは大人が多い時のほうが良いと思いました。結果的に高学年がリーダーとなりよい遊びになりましたが、そうでなかった場合を考え短時間で準備片付けができる調理のほうが良いと思いました。

・帰りのバスでのお友達を助ける子どもたちの姿はとても感動しましたが、感染症を考えると子どもたちを距離を取らせるべきなのかもしれません。でもこうした誰かを助ける行為は身に着けてほしい事なので、その後の消毒や気を付けることなどを教える時間も作りたかったです。

5.事業成果物

(1)支援契約書記載の成果物名称

事業完了報告書の提出、写真の公開

(2)事業完了時の成果物名称

神奈川県横浜市の「子ども第三の居場所」(A)コミュニティモデルにおける子どもへの体験機会の提供(2023)事業完了報告書
写真の公開



(3)未作成となった要因

(4)成果物を登録したウェブサイトのURL

成果物の登録方法については、こちらをご確認ください→ https://www.nippon-foundation.or.jp/app/uploads/2019/03/gra_gui_01-1.pdf (なお、事情により、公開が困難な成果物に関しては、表紙のアップロードをお願いいたします。)

上記で登録したURLをご記載ください。